

九重森林公園スキー場～ミソコブシ山

時間:往復約2時間 / 高低差:約200m



わいた
エリア

九重森林公園スキー場からミソコブシ山までのコース。入口の一目山からミソコブシ山までつづく、スキの草紅葉が美しいコース。360度展望がよく、親子でハイキングにピッタリ!

【コハウチワカエデ】

ムクロジ科の高木。葉はふつう7～9裂し、形が天狗の持つうちわに似る。紅葉はオレンジ～赤色。グラデーションも多い。

*図の時間はすべて車移動した場合



【ブナ】

ブナ科の高木。樹皮はなめらか。紅葉は黄～オレンジ～褐色。葉のふちは波形になる。

【シラキ】

トウダイグサ科の小高木。葉先はとがり、鋸歯(きょし:切れ込み)はない。紅葉は真っ赤～オレンジ～黄色になり、グラデーションのものも多い。

大船登山バス終点(池窪)～入山公廟

時間:往復約1時間30分(徒歩分のみ) / 高低差:約200m



久住
エリア

大船山の中腹(池窪)まで行く登山バスを利用して、岡藩三代目藩主、中川久清の墓所「入山公廟」まで行くコース。バスは完全予約制(竹田市観光ツーリズム協会TEL:0974-63-0585*予約はネットからのみ)



▲登山バスの様子
バスに遅れないようにしましょう

男池～かくし水

時間:往復約2時間 / 高低差:約100m



男池
エリア

日本名水100選の男池湧水から、登山者いこの湧水スポット「かくし水」までのコース。大きなブナの木からいるとどりのカエデに出会える、いわば紅葉のデパート。入口から10分ほど歩いたところにある窪地のまわりの紅葉が見事。

往復2時間 のショートコースで楽しむ

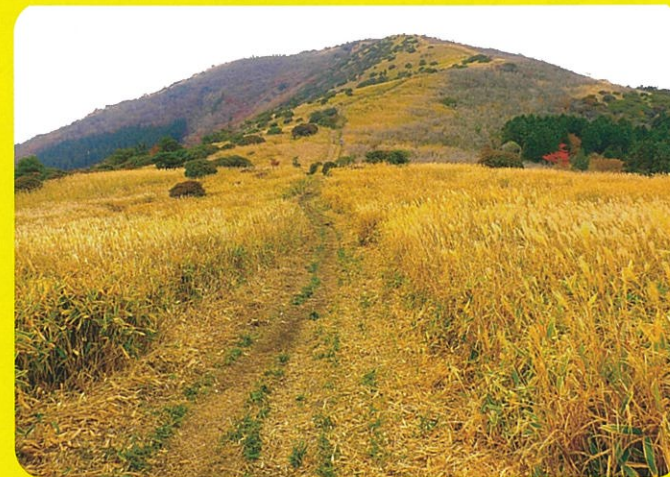
紅葉ハイキング

紅葉は見たい!でも登山はキツイからいやだな...
かといって散策コースでは物足りないし...
今回はそんなあなたにぴったりの、トータル2時間程度の紅葉ショートハイキングコースを紹介します!

A 獵師岳(りょうしだけ)

時間:往復約2時間 / 高低差:約200m

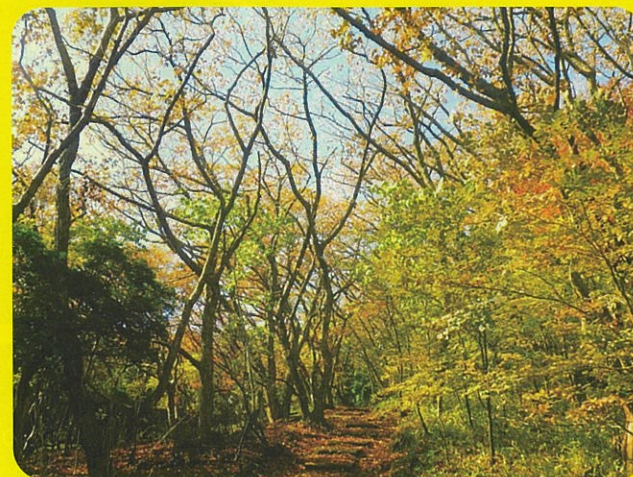
小さい子どもを連れて家族でハイキングをするのに一番おすすめのコース。樹林帯からなだらかなスキの草原を登っていく。360度展望のよいコースで、ふりかえるとくじゅう連山が一望できる。遠くには阿蘇五岳や風力発電所も。牧ノ戸峠から久住山にいつか登ってみたいと考えている人は、このコースから始めてみよう。



B 九州自然歩道(牧ノ戸峠～長者原)

時間:片道約1時間 / 高低差:約300m

牧ノ戸峠から長者原へと続く、九州自然歩道。一部車道を横切る部分もあるが、ほとんどのコースが樹林帯の中の整備された舗装路。11月の紅葉時期には旅行会社がこのコースを利用したツアーを行うほど、定番のコース。路線バスを利用して、牧ノ戸峠(標高約1330m)から長者原(標高約1000m)まで下山をしながら紅葉を楽しもう。



紅葉ハイキング見ごろ時期
(標高約800m～1300m)
10月末～11月上旬

スキの見頃時期
10月～11月中旬

長者原・牧ノ戸エリア

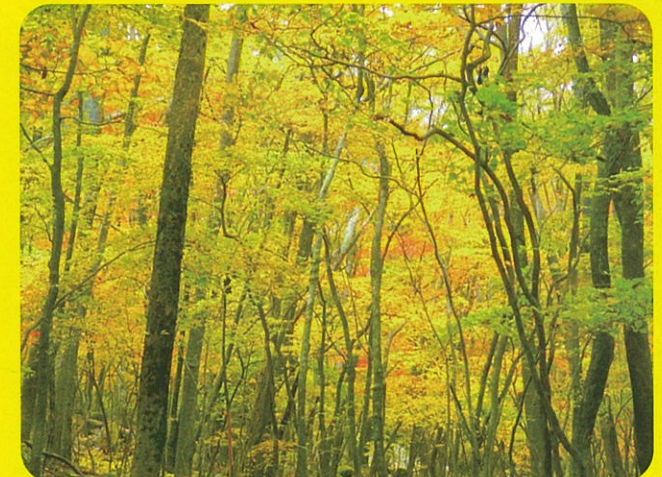
このエリアには紅葉を楽しむ魅力的なショートコースが集中し、長者原～牧ノ戸峠間において、路線バスが走っている。紅葉シーズンは長者原地区に臨時駐車場が開設されるので、牧ノ戸峠に行きたい場合は長者原に車を停めて、バスを利用しよう!



C 指山自然研究路

時間:約2時間 / 高低差:約200m

指山(標高1,449m)のすそのをぐるっと回る、落葉広葉樹林が広がる森の研究路。長者原ヘルスセンターとモンベルショップの間の舗装路(硫黄山道路)から指山自然研究路に入るのがオススメ。木漏れ日に輝く紅葉が美しい。長者原まで戻ってくるのに約2時間と、ちょうどいい周回コース。



気を付けて紅葉ハイキング!

・防寒着を必ず持参しましょう。
10月～11月は朝晩の冷え込みが激しく、気温が0度を下回ることもあります。

・登山マップを持って入山しましょう。
紅葉シーズンは落葉によって特に登山道がわかりにくくなります。

・雨具を必ず持参しましょう。
秋は気温が低く、雨で濡れてしまうと低体温症のおそれがあります。寒い時には風よけにも活躍します。